



リニューアル後の図書館

学校図書館の相談を受けたり、お手伝いしたりしているうちに、「こんな風にリニューアルできたよ」「ガットがこんなサポートしてくれるよ」といった評判、口コミが広がっているのが嬉しいですね。

図書館がきれいになるだけでなく、子どもたちがお手紙をくれたり、学校便りの中で紹介してくれたり、作業を手伝つてもらつたりと、やりがいを感じる機会もたくさんありました。「熊本市の基金の助成を受けて活動している」という点が、団体の

Q 4年連続で助成を受けることでどんな変化がありましたか？

学校図書館の相談を受けたり、お手伝いしたりしているうちに、「こんな風にリニューアルできたよ」「ガットがこんなサポートしてくれるよ」といった評判、口コミが広がっているのが嬉しいですね。

Q 今後の展開や活動予定は？

信用を得る上でも大きく影響していると思います。



新事業のために設置したトレーラーハウス

それぞれ「学び舎」と「語り舎」と名付けた2台のトレーラーハウスを設置しました。従来の事務所と同じく、本の貸し出しやおはなし会なども開催。ものづくりが楽しめる工作室や、野菜づくりができる近隣の畠など、活動の幅が広がりそう！子どもたちに向けた「ガット教室」「ガット塾」、保護者のコミュニケーションのための「ガットカフェ」なども計画されています！

街の小さな私設図書館においてませ！

トレーラーハウスの中は、街の私設図書館としての機能もあります。子どもから大人まで誰でも本を借りにきてOKなのはもちろん、おはなし会や読書会、工作体験会なども開催しています。少しでも興味のあることを勉強してもらえるよう、図書館としての機能はもちろん、畠や工作室などの備えたトレーラーハウスを設置しました。子どもたちが自立を目指して楽しく学ぶ場、保護者同士や地域の方々、様々な人が繋がる場のようにと願っています。

NPO法人 ガット 事務所
熊本市西区中島町1279番地6
096-223-5376
ホームページ <https://book-gatto.jimdofree.com/>



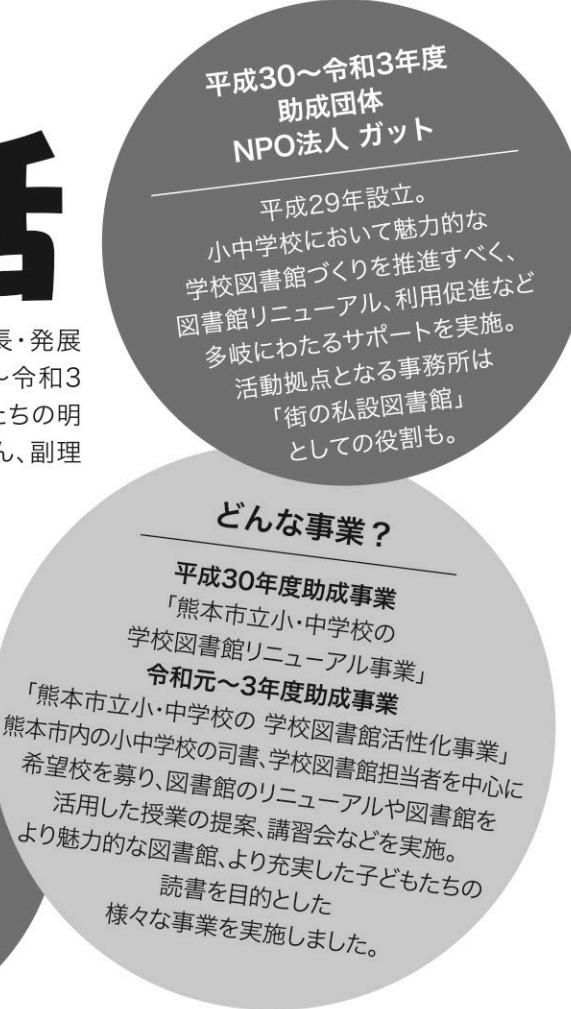
くまもと・わくわく基金 その後の話

くまもと・わくわく基金の助成を受けた団体が、その後どのような成長・発展を遂げたのかを追跡するこのコーナー。今回取材したのは、平成30～令和3年度まで、4年連続で助成を受けた「NPO法人 ガット」です。「子どもたちの明るい未来」のために突き進むその活動について、理事長の西村るりさん、副理事長の森永憲二さん、理事の中川三奈さんにお話を聞きました。



理事長(中)：西村 るり さん
副理事長(右)：森永 憲二 さん
理事(左)：中川 三奈 さん

団体名の由来は
学校図書館
・
(ガッコウトショカン)
の「ガット」です！



私たちスタッフは、元々「熊本県学校図書館協議会」という組織で長い間実務に携わってきました。小中学校の学校図書館に関する仕事を続けていくなかで、「学校の図書館をより良くする活動をしよう！」と思いつたのがきっかけです。子どもの健全育成に焦点をあてた活動を計画し、5～6年の準備期間を経て、NPO法人を設立することになりました。

活動内容はひとことで言うと「学校の図書館を魅力的にすること」です。小・中学校の図書館づくりのお手伝いを中心に、地域の子どもたち勉強会を開きたいと考えています。ハード面のリニューアルだけでなく、「こうしたら子どもたちがもっと本を読んでくれる」といったノウハウも伝えたいですね。やる気さえあれば、必ずリニューアルに成功できるはずなので、そのきっかけを作れるような勉強会を開いていけたらと思います。

活動の拠点となる事務所は、地域の人々の憩いの場として、また趣味の教室としても提供しています。「街の小さな私設図書館」、「街の便利な私設公民館」のような役目を担いたいですね。

これまでの4年間でいたいた助成金を活用して、学校図書館活性化に向けた講習会、先進校の司書を講師として招いた講習会、リモート学習会など、様々な事業を行うことができました。

これまでの4年間でいたいた助成金を活用して、学校図書館活性化に向けた講習会、先進校の司書を講師として招いた講習会、リモート学習会など、様々な事業を行うことができました。

Q わくわく基金との出会いは？

設立当時はあいぽーとに行くたびに、私たちの活動に合う、応募できそうな助成金の情報を書き集めていました。ところがよくよく相談してみると、まさに「灯台もと暗し」！

あいぽーとが窓口となっている熊本市の「くまもと・わくわく基金」が、助成対象の幅も広くて使いやすく、私たちにとって一番ぴったりの助成金でした。